

# 都市マネジメント分科会 (観光・地域活性化分野)

岡崎市デジタル推進課

## 公共空間整備期



## 公共空間活用推進期



## 民間投資誘導期



## 2 ウォーカブルを支えるスマートシティ

【都市再生】

【まちなかウォーカブル】

人流創出 → 好循環 → 民間投資

公共空間整備 → 公共空間活用 → まちなか人流波及

【スマートシティ】

ウォーカブル諸課題を解決する  
スマート技術

快適

安全

交通

健康

環境

観光

防災

商業



これまでの取り組み

	H30 以前	R1	R2	R3	R4
スマート技術紹介	サイクルシェア		プロジェクトマッピング・メタバス	脱炭素×スマートモビリティ	グリーンインフラ検討 次世代パーソナルモビリティ
データ活用紹介		群衆事故防止	駐車場満空情報 密の予防回避 人流カメラ設置	スタートアップ企業連携	リアルタイム混雑情報発信 広域アプリ連携データ地域活用
				回遊離脱箇所特定 観光需要推計	大学連携 コンテンツツーリズム分析
					サイクルシェア経営改善

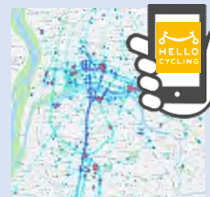
## シェアリングモビリティ事業

居住者や来街者が、移動手段をスマートに選択できる未来の構築を志向し、まずは電動自転車のシェアリングを導入



- 操作パネル  
・カドリーガー  
・GPS  
・通信装置
- サイクルポート
- バッテリー
- 電子錠
- ICカード読取機  
交通系IC等  
登録・利用可能

アプリで  
予約・利用・決済



## データ駆動で首都圏の模倣でない自立経営構築

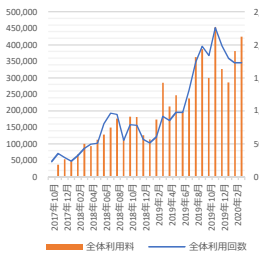
H29～H30 普及・展開期

R1～R2 利用拡大期

R3 経営効率向上期

R4～ 経営戦略転換期

### 〇地元需要喚起と効果測定



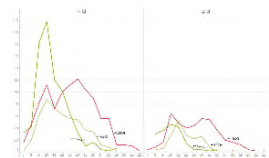
データで効果測定しながらターゲットアプローチ。活用熱意に応じてポート設置（以下例示）

- ・近隣大学  
学生通学の活用を打診
  - ・近隣オフィス  
従業員通勤の活用を打診
  - ・ホテル事業者  
宿泊者回遊の活用を打診
- まちづくり課題解決の公共性を前提にポート設置借料は無料

### 〇観光需要喚起・プロモーション戦略



データ解析から、短時間かつ平日朝夕が多く、地元への普及・展開期の成果は出ている。その一方売上増加のためには、長時間利用が見込まれる観光客をターゲットにアプローチ



人気YouTuberの聖地巡礼に合わせたプロモーション実施により、売上大幅増加！

### 〇再配置手間の軽減

再配置軽減と底堅い地元利用強化。混雑統計から人口密度の高いマンション付近へポート設置



- ・観光需要前朝の時間帯に、通勤・通学で市民が駅へ移動
- ・その自転車を観光客が駅到着で長時間利用
- ・それを夕方の帰宅に市民が利用再配置の手間なく3回転利用

### 〇充電地交換の手間軽減

高需要で電池交換が煩雑化。高稼働箇所へ充電ポート増設。クーポン配付で充電協力依頼。データ解析から、期間後特典なしでも利用者の充電協力は十分得られることが判明！

### 〇次世代パーソナルモビリティ導入試行

以下を好機にR4～導入試行

- ・大河ドラマ館設置による観光特需
- ・公共投資による大規模公共空間
- ・脱炭素社会進行
- ・改正道交法施行を見据えた挑戦
- ・施行後は民間再開発等と連携した普及拡大



### 〇都市全体での経営分析

再開発等の民間投資が活発化してくる今後は、移動手段をスマートに選択できる未来の実現に向け、事業単体の採算ではなく、都市経営全体で分析・進捗の方向性を検討していく。

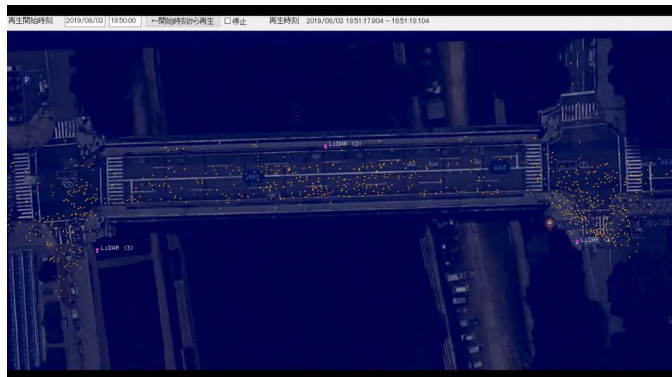


単年度黒字・累積損失一掃を達成

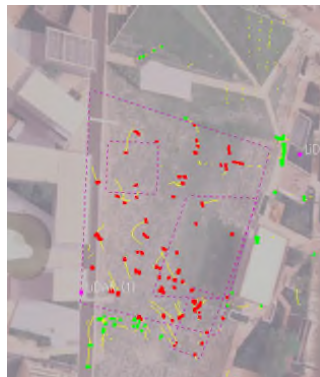


## 4 例示：3D-LiDAR活用の変遷

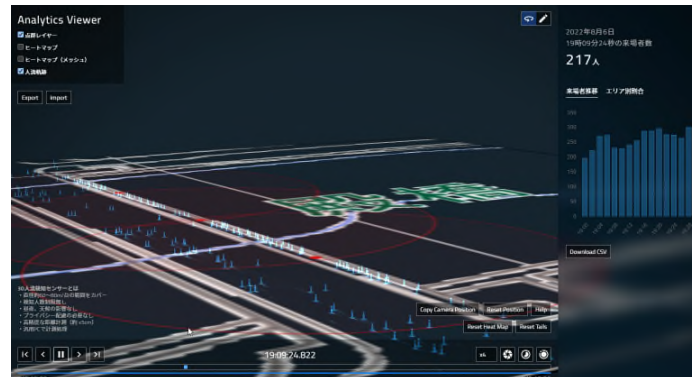
### R1 群衆事故防止

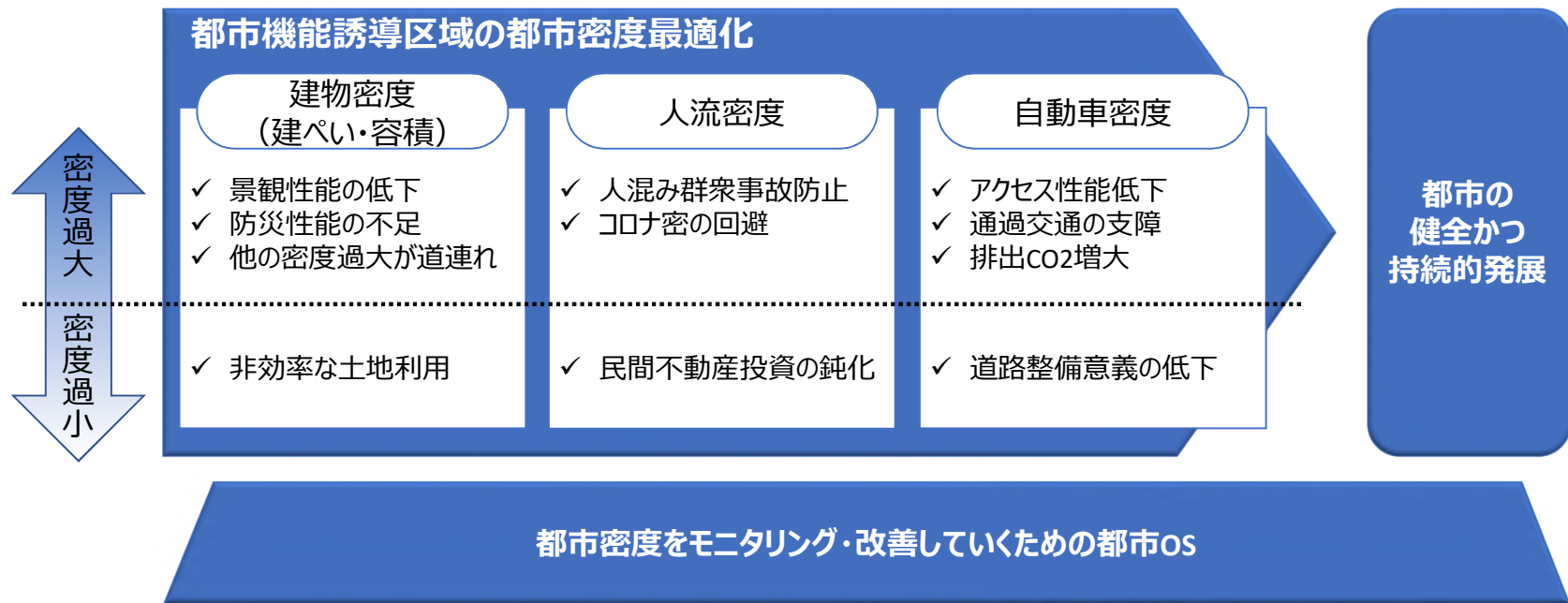


### R2 密の予防・回避



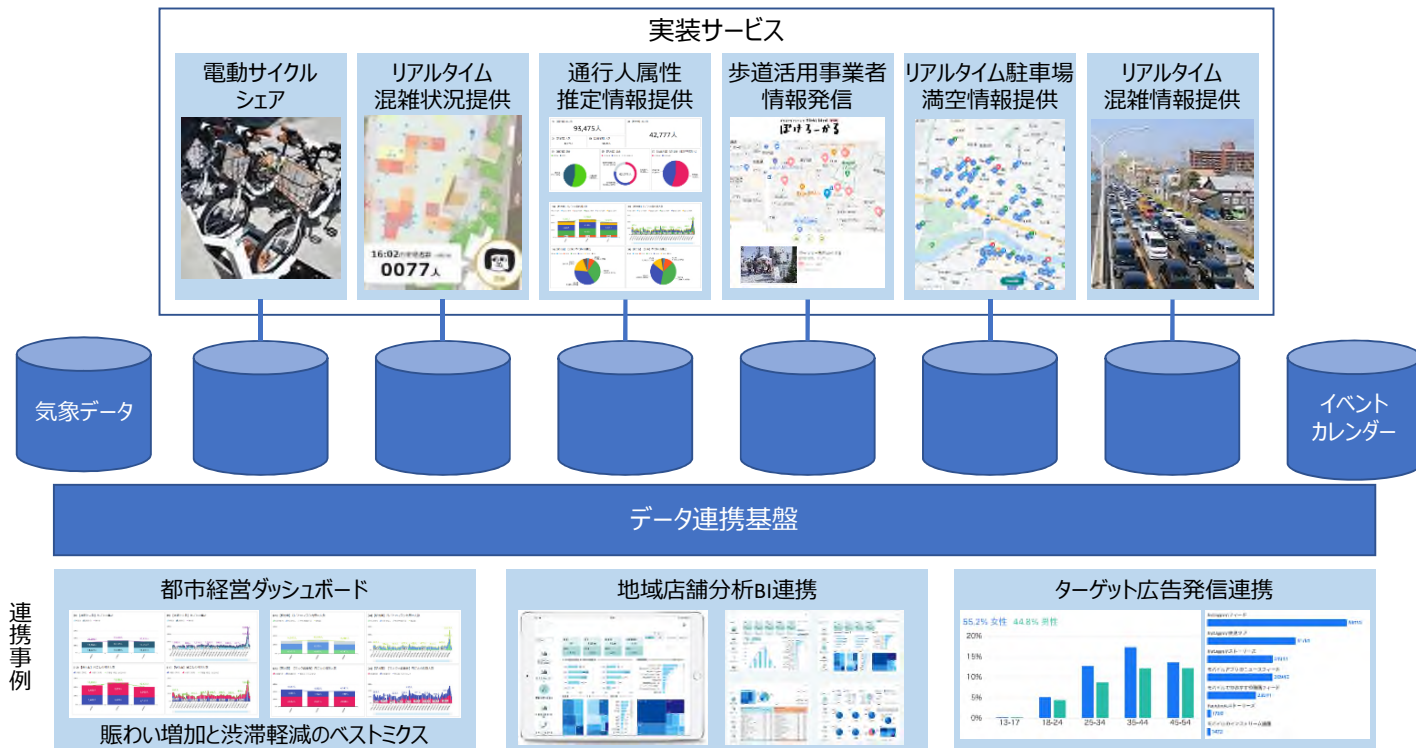
### R4 例外的オペレーションチェック





適切な人流密度がまちを育てる

一定以上の人流確保と渋滞緩和の両立



人流データを軸にしつつも、まちづくり進行に応じて柔軟にテーマを設定し、積極的にデータを活用していく

## 7 岡崎市スマートシティの未来

利便性の  
高い暮らし



まちを楽しむ  
人が集う将来



可視化されたまちの引力が「スマートなこのまちで〇〇したい」を増幅